

Milan Design Week 2023 Report

ARCHAEOLOGY OF TILES**Presented by Alternative Artefacts Danto**

老舗タイルメーカー ダントーによる新ブランド Alternative Artefacts Danto
ミラノデザインウィーク期間中にプレゼンテーションを実施



Photo : Guglielmo G C Profeti

2024年春、タイルのもつ可能性を提案する新しいタイルブランド [Alternative Artefacts Danto (オルタナティブ・アーティファクツ・ダントー)] (以下 [A.a. Danto]) が誕生します。

それに先駆け、ミラノデザインウィーク期間中の2023年4月20日(木)、緑に囲まれた工場跡地にあるMariencòを舞台に、1日限りのプレゼンテーションを実施しました。これまでに淡路島でタイルを製造する老舗タイルメーカーダントーが重ねてきた物語を内包するインスタレーションを展開しました。

なお、[A.a. Danto]は、ダントーによる新ブランドで、クリエイティブディレクション、アートディレクションは、柳原照弘が率いるTERUHIRO YANAGIHARA STUDIOが手がけます。

2024年のブランドデビューにあたっては、フランスを拠点にする建築家・デザイナーのIndia Mahdavi (インディア・マダヴィ)と柳原照弘がデザインを手がける予定です。タイルを通じて過去と未来、日本と世界をつないでまいります。



Photo : Guglielmo G C Profeti

左：ダントーに残る歴史的なアーカイブの数々を展示

右：幻想的な空間で、大阪の和菓子職人「餅匠しづく」によるライブパフォーマンス

粘土を練り加工するタイル製造工程と、日本の技術である和菓子づくりの工程が似ていることに着想を得たパフォーマンスを披露

EXHIBITION INFORMATION

Title : ARCHAEOLOGY OF TILES Presented by Alternative Artefacts Danto

Date: 2023年4月20日（木） 12:00 – 19:00

Place: Mariencò / Via Ampola, 18, 20139 Milan

Creative Direction、 Art Direction : TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO

Food Installation : 餅匠しづく 石田 嘉宏

Music supervision: Mido (MENACE/SENSE)

Website : aa-danto.com

Instagram : [@a.a.danto](https://www.instagram.com/a.a.danto/)

(<https://www.instagram.com/a.a.danto/>)

展示について

ダントーのルーツである19世紀初頭に生産された珉平焼、時代によって変化するタイル、その他様々な形状の焼き物、また現在のダントーの特徴である原材料「土」の展示を通し、紡がれてきたタイルの歴史をお楽しみいただきました。さらに、当日は、大阪の和菓子職人「餅匠しづく」によるライブパフォーマンスも行いました。粘土を練って加工するタイル製造工程と、日本の技術である和菓子づくりの工程が似ていることから着想を得ました。今年はブランドのプレビューとして、その場でしか味わえない、ご来場のみなさまの記憶に残る1日限りのプレゼンテーションを展開しました。

Project Information

【A.a. Danto】PROJECT CONCEPT

2024年春に誕生する「Alternative Artefacts Danto」は、デザインによってタイルの新たな可能性を探るタイルブランド。約130年にわたって淡路島でタイルを製造する老舗メーカー、ダントーによる最新のプロジェクトです。TERUHIRO YANAGIHARA STUDIOによるクリエイティブ・ディレクションのもと、従来のタイルの形、用途に捕らわれることなく、マテリアルとしてのタイルの可能性を探っていきます。

プロジェクトでは毎年、世界で活躍する建築家やデザイナー、アーティストをコラボレーターとして日本に招き、新たな視点からタイルづくりに取り組んでいきます。コラボレーターは江戸時代の珧平焼に始まるダントーの歴史を遡る中、タイル職人たちの手業や、陶土の開発から取り組むことで生まれる独特のタイルの色調、特殊な造形にも対応できる量産体制などに触れた上で、自由なアプローチでタイルと向き合うこととなります。

最初のコラボレーションパートナーにはフランスを拠点にする建築家・デザイナーのIndia Mahdavi (インディア・マダヴィ)を迎えます。色彩の魔術師、また独特な造形言語を持つ彼女とのコラボレーションから生まれるプロダクトは、2024年春のミラノデザインウィーク中に発表いたします。

タイルのもつ可能性について、クリエイティブ・ディレクターの柳原照弘は次のように話します。

「タイルで空間の雰囲気を一変させることもできます。ダントーのタイルは土を焼成してできるため、陶器のような手触りでぬくもりを感じます。このプロジェクトを通して内装材としてのタイルの可能性を広げていきたいのです」

また、「Alternative Artefacts Danto」はタイルの開発だけではなく、淡路島の土地にも新たな風を吹き込んでいきます。ダントー創立の場として今でも残る工場内に、クリエイターの滞在施設やホテル、ショップ、レストランなどからなるクリエイティブ・ハブを計画しています。

ダントーホールディングス株式会社

淡 (だん)ー淡路島の淡

陶 (とう)ー陶器

日本で硬質陶器タイルを量産化したメーカーの老舗 ダントーは、常に革新的、実験的、オープンマインド、手仕事、そしてタイムレスであることを理念に据え、事業を展開。

ダントーは、瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な淡路島で、江戸末期の1830年代に本格的にスタートした珧平焼にルーツを持ち、1885年（明治18年）に会社として設立された。職人技の革新性に加えて、タイルの主原料である土の配合に対するたゆまぬ研究、時代を反映したデザイン、そして精緻なものづくりがダントーの歴史を積み上げてきた。

TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO (TYS)

2002年、デザイナーの柳原照弘によって創設され、日本、フランス、英国、オランダなど、多拠点から参画するスタッフとともにレストランやショップの空間デザインから、家具、テーブルウェアなどのプロダクトデザイン、テキスタイルデザイン、さらに香りのデザインまで、国内外で多岐に及ぶプロジェクトを手がけるデザインスタジオ。

プロジェクトのクライアントとなる企業やブランドの価値の本質を見極め、その世界観を包括的に伝える上で、空間や商品だけではなく、コミュニケーションツールなどのアートディレクションを含めたブランディング構築を手がけることもある。そのために、プロジェクトが生まれる土地の歴史や風土を入念にリサーチし、とりわけて伝統的な素材や技法に目を向け、伝統が時代に置き去りにされることのないよう、現代の暮らしの中に伝承していくデザインに意を注ぐ。

こうしたデザイン活動を行うとともに、ものづくりの思考やプロセスを表現し、また共感するアーティストやデザイナーのクリエイションを発信する起点として、神戸と南仏の古都アルルにフランス語で波を意味する「VAGUE」という拠点を設ける。

これまで、Kvadrat、Skagerak、Offecct、1616 / arita japan、Karimoku New Standard、Mame Kurogouchi、木村硝子など、国内外のクライアントのものづくりに関わる。

プレスお問合せ先：HOW INC.
pressrelease@how-pr.co.jp

お客様お問合せ先：Alternative Artefacts Danto
contact@aa-danto.com